



## 1 4 局地的な集中豪雨等に備えた治水対策及び浸水対策の推進

(国土交通省)

局地的な集中豪雨等の災害から市民の生命・財産・暮らしを守るため、治水対策及び浸水対策を着実に推進していくことが不可欠であることから、次のとおり求めます。

### 提案・要望事項

- (1) 準用河川を含む中小河川の改修に対する補助要件の緩和など財政支援の拡充
- (2) 下水道の雨水幹線等の浸水対策施設整備に対する交付金の増額
- (3) 都市基盤河川整備に対する交付金の増額
- (4) 河川、水路及び排水機場の維持修繕に必要な国庫補助制度の創設等

# 局地的な集中豪雨等に備えた治水対策及び浸水対策の推進

京都市は土地利用が高度に進んでおり、市内を流れる河川の沿川の住宅密集地や、地下街などの地下施設が集まる地区で、万が一、溢水等の被害が発生した場合には、市民の財産の損失のみならず、都市機能の麻痺や水難事故など、市民生活に甚大な被害をもたらすことになるため、**河川の改修や適切な維持補修、雨水幹線等の整備といった安全対策を講じ、浸水被害を未然に防ぐことが重要**

局地的集中豪雨対策のため、河川改修、雨水幹線等の整備が必要



浸水被害の状況



整備中の雨水幹線

○準用河川の改修事業における**補助要件の緩和が必要**

- ・4億円未満の事業は対象外
- ・雨水貯留施設の設置は対象外

○近年の局地的集中豪雨に対応するため、総合的な治水対策に係る中小河川の改修や、雨水幹線等の浸水対策施設の整備のスピードアップを図るため、**安定的かつ十分な予算を確保することが必要不可欠**

市民のくらしを守るため、浸水被害の未然防止が重要



傷んだ護岸の補修

経年によるクラックが発生



老朽化が進む排水機場

<参考>本市における河川の状況

種別	細別	管理者	河川数	延長(m)
一級河川 (河川法適用)	直轄河川	国土交通大臣	5	42,179
	指定区間 (都市基盤河川改修対象区間)	京都府知事 (工事・維持の代行:京都市長)	53 (18)	318,270 (29,875)
準用河川 (河川法適用)		京都市長	31	49,993
普通河川 (河川法適用を受けないもの)		京都市長	291	438,512
計			380	848,954
			(京都市管理分) (340)	(518,380)

○平成25年の台風第18号や平成26年8月の豪雨など、近年多発する大雨や局地的な集中豪雨に備え、京都市が管理する340河川全てを対象とした対策を行うため、**安定的かつ十分な予算を確保することが必要不可欠**

○京都市が管理する35箇所の排水機場では、老朽化が進んでいることから、早期に耐震化を図るとともに、適切な維持修繕が必要。国の補助制度は1級・2級河川に係る排水機場のみが対象であり、**準用河川等に係る排水機場も補助対象となるよう要件緩和が必要**